

第2次東御市男女共同参画推進基本計画に基づく
令和7年度事業計画

【評価方法】 別紙を参照する
・(※1) 事業実績評価 …… 「A」～「D」もしくは「不」（評価不能）を記載
・(※2) 評価判断基準 …… ①～④をa～c（-）で評価（該当箇所に○を記入）
・(※3) 共同参画視点 …… 着目した視点番号をすべて記載（1～12）

資料 1

基本目標 1 両性の尊重と性差別の根絶 ※推進基本計画P16から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（1）両性の尊重と男女の性に関する教育の推進	①互いの人格を尊重し合う社会実現の啓発 ②性差別に関する相談体制の充実	人権教育・人権学習の充実	学校などでの人権教育を推進するとともに、地域においても人権啓発学習等の活動を推進し、人権尊重のまちづくりを進めます。	教育課	・各小中学校において人権同和教育を推進する。（校長会、教頭会、人権同和教育委員会） ・各校の人権同和教育計画により実施する。	実績状況（数値実績） ・各小中学校において、人権同和教育を推進した（校長会、教頭会、人権同和教育主任）。 ・各校の人権同和教育計画により実施した。 ・人権同和教育研修会、教職員の研修、授業の教材他を通して、人権同和教育の充実に努めた。 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・人権同和教育研修会、教職員の研修、授業の教材他を通した人権同和教育の継続が必要。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c	1. 2. 3. 4. 5 . 10	計画・内容（数値目標） ・各小中学校において人権同和教育を推進する。（校長会、教頭会、人権同和教育主任会、人権同和教育委員会） ・各校の人権同和教育計画により実施する。 （5小学校、2中学校） 課題に対しての修正点 ・学校ごと、人権同和教育計画により実施する。
				人権同和政策課	人権尊重のまちづくり市民の集い、各種人権セミナーを開催する。 より多くの方が参加できるよう、平日の昼夜、土曜日など、年6回開催	実績状況（数値実績） ・人権尊重のまちづくり市民の集い 開催日：12月7日（土） 会場：東御市中央公民館 来場者数 135名 ・東御市人権セミナーを6回開催（6月～11月）障がい者の人権、在日朝鮮人の人権、平和と人権、LGBTQ、部落差別、女性の人権）。 効果と課題 ・人権セミナーでは、土曜日昼間の参加者が伸び悩んだ。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		計画・内容（数値目標） ・人権尊重のまちづくり市民の集い、各種人権セミナーを開催する。 ・より多くの方が参加できるよう、平日の昼夜を中心に年6回開催 課題に対しての修正点 ・人権セミナーを平日の昼間開催に変更し、企業にも研修として参加していたようにした。
				健康推進課	男女が自身の性を前向きにとらえ、自分らしく生きるための思春期健康教育などの学習を進めます。	実績状況（数値実績） 県が講師となる学生の育成をできなかったため中止。 効果と課題 実施なし		① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c		計画・内容（数値目標） 県が講師となる学生の育成をできないため中止。 課題に対しての修正点
		性教育の計画的実践	教育計画の中で児童の成長に応じた性教育を位置づけ学習を進めます。	教育課	性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い、理解する。他の教科と連携し学ぶ。（家庭科、理科、体育・保健体育、社会）	実績状況（数値実績） ・性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い理解する。他の教科と連携で学んだ。（家庭科、理科、保健体育、社会） ・性的マイノリティの人権について学んだ。 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・他の教科（家庭科、理科、保健体育、社会）と連携した学習の継続が必要。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c		計画・内容（数値目標） ・性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い、理解する。 ・他の教科と連携し学ぶ。（家庭科、理科、体育・保健体育、社会） （5小学校、2中学校） 課題に対しての修正点 ・学校ごと、児童の成長に応じた性教育、人権教育の学習を実施する。
	社会環境の浄化		男女の人権を侵害する書籍類の撤去活動を行い、性の商品化や性差別を助長する環境の浄化を目指します。	地域づくり支援課	今後も情報収集に努め、再び設置されないよう監視を継続する。	実績状況（数値実績） 有害環境浄化活動（チェック活動）として、青少年市民会議・青少年補導委員により5地区で年3回（7月、11月、2月）の監視を行った。 効果と課題 定期的に巡回を行っていること、事業主からの聞き取り調査も行うため、抑止効果が活かされている。今後も監視活動の取り組みを継続していく。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ (a) b c ④ (a) b c	2	計画・内容（数値目標） 青少年係補導委員が中心となり、市民会議役員の協力もいただきながら計画的に有害環境浄化活動（チェック活動）を実施する。 課題に対しての修正点 会議等を通じて情報共有を図る。
				人権同和政策課	毎月人権よろず相談所を開設（年12回）、相談内容の充実（男性の人権等）を図る。また、隔月で女性弁護士相談を実施する（年6回）。 様々な相談内容に対応できる体制の検討。	実績状況（数値実績） ・人権よろず相談開設 年12回（相談件数 97件） ・女性弁護士相談開設 年6回（相談件数 21件） 効果と課題 ・効果 相談者の悩みごとの解決の糸口となった。 ・課題 様々な相談内容に対応できる体制の検討。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		計画・内容（数値目標） ・人権よろず相談を毎月開設。（年12回） ・女性弁護士相談を隔月開設。（奇数月、年6回） 課題に対しての修正点 ・引き続き相談者の悩みごとの解決の糸口となるよう事業を進めていくとともに、午後の開催が可能かどうか弁護士会と協議する。
	相談体制の充実	性差別に関する相談機能を充実します。人権相談、よろず相談及び日常的な相談受付。		子ども家庭支援課	引き続き相談体制の周知と対応を継続する。	実績状況（数値実績） ・市報に子どもサポートセンターの取り組みを掲載した。（10回） ・子どもフェスティバルと巨峰の王国まつりに子どもサポートセンターのブースを設け、子どもサポートセンターの取り組みを周知した。 効果と課題 効果：こどもと家庭の相談窓口としての子どもサポートセンターが周知できた。	B	① a (b) c ② a b c (-) ③ a (b) c ④ a (b) c	1 2 3 8 10	計画・内容（数値目標） 引き続き相談体制の周知と対応を継続する。 課題に対しての修正点 近隣の高校に対して、子どもサポートセンターの相談支援体制を周知する。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の観点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の観点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（２）男女間のあらゆる暴力の根絶	①暴力根絶に向けた啓発活動の推進 ②家庭内暴力についての相談窓口の充実 ③暴力を受けた被害者に対する支援	暴力根絶のための啓発	ポスターの掲示等により男女の人権に対する意識の啓発に努め、男女間のあらゆる暴力の根絶のための意識啓発に努めます。	人権同和政策課	市各課及び県等の関係機関との連携により、「女性に対する暴力をなくす運動」ポスター掲示やチラシの配布を行う。（国際女性デーに合わせての周知やイベント等の開催）	実績状況（数値実績） 「女性に対する暴力をなくす運動」ポスター掲示やチラシの配布およびホームページ等への掲載を行った。 人権セミナーにおいて「デートDV」についての講演を行った。	B	① a (b) c ② a b c  ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 4	計画・内容（数値目標） 各課及び県等の関係機関との連携により、「女性に対する暴力をなくす運動」ポスター掲示や、チラシの配布を行うとともに、各種イベント等でもチラシの配布等を行う。
						効果と課題 周知方法について検討が必要。				課題に対しての修正点 市ホームページやSNSを活用し周知する。
		相談体制の充実	男女間のあらゆる暴力や家庭内暴力の相談に迅速な対応ができるよう、県男女共同参画センター・県女性相談センター等の関係機関との連携を強化や弁護士相談を実施し、相談体制の充実を図ります。	福祉課	市の母子父子自立支援員及び女性相談支援員が関係機関との連携を図り相談の対応を行う。	実績状況（数値実績） 庁内の各部署や県の女性相談センターと連携して支援にあたったほか、法的手続きに及ぶケースにあっては弁護士相談を実施した。 ・相談案件数は22件。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	2	計画・内容（数値目標） 市の母子父子自立支援員及び女性相談支援員が関係機関との連携を図り相談の対応を行う。
						効果と課題 【効果】暴力に関する相談は多様化・複雑化してきているため、庁内連携はもとより関係機関と連携・協力して対応にあたっていることが解決の糸口になっている。 【課題】困難事例が増加している。				課題に対しての修正点 母子父子自立支援員と女性相談員をそれぞれ専任として配置した。
				教育課	学校において家庭内暴力を発見した場合は、関係機関へ連絡をする。	実績状況（数値実績） 学校において家庭内暴力の発見・相談を受けた場合は、関係機関への通報。被害にあった児童生徒への相談支援を構築した。 （5小学校、2中学校で相談体制の実施）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c	1. 2. 3. 4. 10	計画・内容（数値目標） ・学校において家庭内暴力を発見した場合は、関係機関へ連絡をする。（5小学校、2中学校）
						効果と課題 ・引き続き、関係機関との連携が必要。				課題に対しての修正点 ・学校ごと、子どもサポートセンターを含めた関係機関との連携を行う。
				人権同和政策課	毎月人権よろず相談所を開設（年12回）、相談内容の充実（男性の人権等）を図る。また、隔月で女性弁護士相談を実施する（年6回）。	実績状況（数値実績） ・人権よろず相談開設 年12回（相談件数 97件） ・女性弁護士相談開設 年6回（相談件数 21件）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 8	計画・内容（数値目標） ・人権よろず相談を毎月開設。（年12回） ・女性弁護士相談を隔月開設。（奇数月、年6回）
						効果と課題 ・効果 相談者の悩みごとの解決の糸口となった。 ・課題 様々な相談内容に対応できる体制の検討。				課題に対しての修正点 ・引き続き相談者の悩みごとの解決の糸口となるよう事業を進めていくとともに、午後の開催が可能かどうか弁護士会と協議する。
		暴力を受けた被害者に対する支援	緊急に援助を必要とする女性などへの早急な保護・救済を行うため、関係機関との連絡・調整など支援体制の充実を図ります。	福祉課	緊急に避難を必要とする女性への早急な保護・救済を行うため、女性相談支援員を中心に支援体制の充実を図る。（暴力を受けた被害者に対する支援）	実績状況（数値実績） 緊急に避難を必要とするケースはありませんでした。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	2	計画・内容（数値目標） 緊急に避難を必要とする女性への早急な保護・救済を行うため、女性相談支援員を中心とする支援体制の充実を図る。（暴力を受けた被害者に対する支援）
						効果と課題 【効果】暴力に関する相談は課題が複雑化しているケースも多いが、連携により広い範囲の相談に対応することができている。 【課題】困難事例が増加している。				課題に対しての修正点 母子父子自立支援員と女性相談員をそれぞれ専任として配置した。
				市民課	住民基本台帳閲覧規制等のDV支援体制の充実を図る（職員のスキルアップ、関係機関との連携）。	実績状況（数値実績） 関係市町村との連携を図るため、申請受付後すぐに電話でやり取りをし、速やかにデータにロックをかけた。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ (a) b c ④ (a) b c	2	計画・内容（数値目標） 住民基本台帳閲覧規制等のDV支援体制の充実を図る（職員のスキルアップ、関係機関との連携）。
						効果と課題 関係市町村との速やかな連携により申請者の安全を図った。				課題に対しての修正点

基本目標 2 男女共同参画を促進するための制度の見直しと改善【女性活躍推進法】 ※推進計画P21から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（1）男女共同参画の視点に立った社会制度、慣行の見直し【女性活躍推進法】	①SDG sの理念を踏まえた、ジェンダー平等の視点の浸透のための講演会等の開催 ②家庭・地域・職場における社会制度や慣行の見直し ③広報・出版物等における男女共同参画の視点に立った表現の促進 ④あらゆる分野における女性の活躍の推進【女性活躍推進法】	男女共同参画・ジェンダー平等の視点の浸透のための講演会等の開催	男女共同参画とジェンダー平等の視点の浸透のための講演会、講座等を開催し、広く市民の意識啓発を図ります。また、学校においてもジェンダー差別に対する理解を深める学習を進めます。	人権同和政策課	男女共同参画に関する講演会・講座等を開催する。 （男女共同参画週間事業、国際女性デー）	実績状況（数値実績） 「男女共同参画のつどい」「国際女性デーイベント」を開催した。	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 8	計画・内容（数値目標） 男女共同参画事業として”あいとびあ”さんかくセミナーのサテライト会場として開催 「国際女性デーイベント」の開催
						効果と課題 それぞれ123名、62名の参加があった。周知方法、開催内容等の検討が必要				課題に対する修正点 市報や市ホームページなどの活用だけでなく、各種団体等へチラシ等を配布しPRする。
		各種講座での男女共同参画啓発への配慮	学級などで男女共同参画に関する内容を盛り込むとともに、女性リーダー養成につながるように運営に配慮します。	人権同和政策課	たけのこ学級は令和4年度末をもって中止	実績状況（数値実績）	不	① a b c ② a b c － ③ a b c ④ a b c		計画・内容（数値目標）
						効果と課題				課題に対する修正点
		市職員の研修会	男女共同参画の啓発と推進のため、市職員の研修会を開催します。	総務課	・令和6年度職員研修計画に基づき、令和6年7月に開催予定（内容未定） ・新規採用職員研修の一環として令和7年3月に研修を開催予定（内容未定）	実績状況（数値実績） ・令和6年度職員研修計画に基づき、令和6年7月25日に男女共同参画研修会を開催した。（出席者151名） ・新規採用職員研修の一環として、令和7年3月7日に男女共同参画研修会を開催した。（出席者4名）	B	① a (b) c ② a (b) c － ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 7. 8. 11	計画・内容（数値目標） ・令和7年度職員研修計画に基づき、男女共同参画研修を開催予定（詳細未定） ・新規採用職員研修の一環として令和8年3月に開催予定。
						効果と課題 （効果） ・性別による固定的な役割意識について考える機会となった。 （課題） ・多岐にわたる課題に対応した研修内容の検討。				課題に対する修正点 ・職員及び時代のニーズに沿った研修内容の検討。
		県等主催の研修会への参加・情報提供	国、県、男女共同参画センター（あいとびあ）等の各種講座、研修、講演会等の参加者を市民からも募り、男女共同参画意識の確立を図ります。また、男女共同参画の啓発、講演会等について市報、ケーブルテレビ、FMとうみ、市ホームページ等を活用して広報し、啓発に努めます。	人権同和政策課	県主催の研修会・各種講座の周知を、様々なメディアを活用し啓発・普及に努めより多くの参加を促す。 国際女性デーに合わせたイベント等の開催	実績状況（数値実績） 長野県男女共同参画センター”あいとびあ”さんかくセミナーのサテライト会場として2回開催、延べ26名参加	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 8	計画・内容（数値目標） 県主催の研修会、各種講座等の周知を様々なメディアを活用し啓発・普及に努めより多くの参加を促す。
						効果と課題 サテライト会場とすることにより、遠方に出かけなくてもセミナーに参加できた。 多くの方に参加していただくため、周知方法の検討が必要				課題に対する修正点 今後も様々なメディアや市ホームページ等を活用し、広報、啓発に努める。
		地域での男女共同参画の推進	地区懇談会を開催するなど、地域に根ざした男女共同参画の啓発、推進を図ります。	人権同和政策課	地区懇談会を開催し、地域での男女共同参画の推進を図る。 懇談内容のフィードバック方法の検討	実績状況（数値実績） 男女共同参画推進会議主催による地域懇談会を和地区で開催、50名参加内容を和地区各区長へ報告し、各家庭に回覧した。	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	3. 4. 5	計画・内容（数値目標） 子育て世代なども含め、様々な年代の方が集まる機会において、シェアシートを配布し、家庭内の男女共同参画の意識向上に努める。
						効果と課題 主催者である男女共同参画推進会議が令和6年度をもって解散したため、今後の在り方について検討が必要				課題に対する修正点 区長会、地域づくりの会など様々な場面でシェアシートを活用し、家庭内の男女共同参画についての啓発活動を行う。
		地域の慣習・慣行の見直し	区・自治会等と連携し、地域における様々な役職への女性の参画を進めるなど慣習・慣行の見直しに努めます。	地域づくり支援課	区長会等と連携し、地域における様々な役職への女性の参画を推進する。	実績状況（数値実績） 自治推進委員会に置いて男女共同参画における周知を図った。（年2回実施）	B	① a (b) c ② a (b) c － ③ a (b) c ④ (a) b c	3. 4. 11	計画・内容（数値目標） 区長会等と連携し、地域における様々な役職への女性の参画を推進する。
						効果と課題 一定の周知を図る機会が設けられた。引き続き女性参画に向けた啓発や周知を進める。				課題に対する修正点 区長会や地域組織の連携を引き続き推進する。
		男女共同参画の視点による適正な公的広報活動の推進	市報、ケーブルテレビ、FMとうみ、ホームページ等における広報に際して、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」等を参考に、性別による固定観念にとらわれない対等な表現、人権を尊重した表現を推進します。	企画振興課	・情報発信において、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」等を参考に、適切な表現を心がける。 ・とうみチャンネル等の行政情報の発信において、表現方法を適切に行うための指導を実施する。	実績状況（数値実績） ○引き続き情報発信において、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」等を参考に、適切な表現を心がけた。 ○とうみチャンネル等の行政情報の発信において、各課で事前確認し表現方法を適切に行うための指導を実施した。	B	① a (b) c ② a (b) c － ③ a (b) c ④ (a) b c	1. 2, 10	計画・内容（数値目標） ○情報発信において、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」等を参考に、適切な表現を心がける。 ○広報委員会等で適切な表現に努めるよう、周知を行う。
						効果と課題 ○継続的に適切な表現を心掛ける必要がある。				課題に対する修正点 あらためて各課へ意識啓発を図る具体的な機会を設ける。
		女性の職業生活における活躍の推進	市内企業における女性雇用促進に向けた働きやすい環境づくりと起業など多様な働き方を推進します。	人権同和政策課	企業訪問を実施し（2社以上）、その結果を広報等に掲載することにより、女性の働きやすい環境を周知する。周知方法の検討	実績状況（数値実績） 人権同和政策係と共同で企業訪問を行い（5社）、働きやすい環境づくりについてヒアリングを行った。	C	① a (b) c ② a (b) c － ③ a b (c) ④ a (b) c	3. 4. 7	計画・内容（数値目標） 男女共同参画推進委員会と共同で企業訪問を実施する。（2社以上）
						効果と課題 総務担当へのヒアリングだったため、広報等掲載は行わなかった。 ヒアリング内容をいかに周知していくかが課題				課題に対する修正点 企業訪問の結果を市報に掲載し、働きやすい職場づくりの取り組み内容をPRする。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 視点 (※3)	令和7年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(2) 雇用 における機 会均等と就 労条件の整 備	①男女の雇 用機会均等 に関する啓 発 ②働きやす い環境の整 備 ③労働に関 する相談の 充実及び就 業に関する 情報の提供	事業主に対して の啓発	労働局、ハローワーク、県等で開催 する各種セミナーについて事業主に 周知します。	商工観光課	労働局、ハローワーク、県等主催のセミナーを広報 等で周知する。	実績状況（数値実績） 労働局、ハローワーク、県等主催セミナーを広報、市HP等への掲載し、商工観 光課窓口にも情報コーナーも設置し周知を行った。	C	① a (b) c ② a (b) c - ③ a b (c) ④ a (b) c	7	計画・内容（数値目標） 従来の周知方法に加え、市が事務局を持つ商工業団体の会議等での周知やSNS を活用した不特定多数への周知も行う。
			育児休暇の取得やフレックスタイム などの就労条件の整備や、従業員が 取得しやすい環境整備の啓発を行い ます。			効果と課題 市報等、紙媒体での発信機会が減少している中で、従来の周知方法から、より 効果的な周知方法を検討していく必要がある。				課題に対しての修正点 SNS等を活用した発信を増やし、効果の検証を行いながら、より効果的な発信 方法を検討する。
			男性の育児休暇取得促進のための新 制度について、企業自らの積極的な 取組が進むよう、関係機関・団体等 と連携して普及啓発を行います	人権同和政 策課	企業訪問を実施し(2社以上)、その結果を広報に掲 載することにより、女性の働きやすい環境を周知す る。周知方法の検討	実績状況（数値実績） 人権同和政策係と共同で企業訪問を行い（5社）、働きやすい環境づくりにつ いてヒアリングを行った。	C	① a (b) c ② a (b) c - ③ a b (c) ④ a (b) c	7	計画・内容（数値目標） 従来の周知方法に加え、市が事務局を持つ商工業団体の会議等での周知やSNS を活用した不特定多数への周知も行う。
			ワーク・ライフ・バランスの実現に 資する、DXの推進によるテレワー ク、フレックスタイムなど、企業等 における多様で柔軟な働き方の啓発 と制度の導入促進を支援します。			効果と課題 総務担当へのヒアリングだったため、広報等掲載は行わなかった。 ヒアリング内容をいかに周知していくかが課題				課題に対しての修正点 SNS等を活用した発信を増やし、効果の検証を行いながら、より効果的な発信 方法を検討する。
		職場における推 進体制の充実	職場における男女共同参画を進める ため、職場の問題点などを話し合う 懇談会を開催します。	人権同和政 策課	男女共同参画行政推進会議を開催し、職員への意識 の啓発及び情報共有を図る。	実績状況（数値実績） 男女共同参画行政推進会を8/1に開催し、職場でのハラスメントと防止や男性 の育児休業取得への対応や配慮について説明を行った。	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 7	計画・内容（数値目標） 職員研修において、グループワークを行うなど、職場の問題点を話し合う場を 設ける。
						効果と課題 制度の内容を全職員に周知し、働きやすい職場づくりための啓発や研修会が必要				課題に対しての修正点 総務課と協力し、全職員が共通の認識を持つよう職員研修等を行う。
		女性の就業への 支援、再就職の 支援、求人情報 の提供	ハローワーク、県等で開催する働く 女性支援セミナーを広報等で周知し ます。 女性の就業支援やスキルアップのた めの講座を開催します。	商工観光課	労働局、ハローワーク、県等主催のセミナーを広報 等で周知する。	実績状況（数値実績） ハローワークの求人情報や長野県工科短期大学が実施する公共職業訓練等を 市HP等で周知を定期的に行った。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	7	計画・内容（数値目標） 労働局、ハローワーク、県等主催のセミナーを広報等で周知する。
						効果と課題 周知に対する効果の検証ができていない。				課題に対しての修正点 公共職業訓練の受講生が何をきっかけに応募しているか等のヒアリングを行 い、より効果的な周知方法を検討する。
				人権同和政 策課	県主催の研修会・各種講座の周知を、様々なメデ ィアを活用し啓発・普及に努めより多くの参加を促 す。	実績状況（数値実績） 県主催の研修会・各種講座の周知を様々なメディアを活用し啓発・普及に努め より多くの参加を促した。	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 8	計画・内容（数値目標） 県主催の研修会・各種講座の周知を様々なメディアを活用し啓発・普及に努め より多くの参加を促す。
						効果と課題 周知方法について検討が必要				課題に対しての修正点 今後も様々なメディアや市ホームページ等を活用し、広報、啓発に努める。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（3）農業・商工業等自営業における男女共同参画の確立	①時代の流れに対応できる経営者の育成 ②女性農業者・女性農協経営者の育成	企業経営セミナーの支援	商工会等が主催する経営能力向上のためのセミナーを支援します。	商工観光課	管内自治体、商工団体等との連携し、セミナーを支援する。	実績状況（数値実績） 企業経営セミナーを11月と1月に2回実施。 いずれも、第一線で活躍する女性を講師に招き、自身の経験等を踏まえた講演会を行った。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	7	計画・内容（数値目標） 管内自治体、商工団体等との連携し、セミナーを支援する。
						効果と課題 1月の講演会には、130名以上の参加者があった。 著名な講師を招くことで、集客にはなるが費用対効果の検証が必要。				課題に対するの修正点 商工会女性部や上田法人会東御支部女性部等と連携し、講師の選出を行う等、運営経費の見直しを検討する。
		女性の農業者・農業経営者の育成	農村女性ネットワークとうみ及び生産者団体などの活動を基軸として、県等が実施する各種セミナーの情報提供をするともに、これらへの参加を促します。また、女性農業者が積極的に地域農業に貢献できる環境づくりを進め、人材の育成を図ります。	農林課	関係機関と連携し、積極的な情報提供により各種研修・講習等への参加を促す。	実績状況（数値実績） 農村女性ネットワークとうみ活動実績なし （令和6年度を持って団体解散）	不	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	9	計画・内容（数値目標） 生産者団体などの活動を基軸として、県等が実施する各種セミナーの情報提供をするともに、これらへの参加を促します。また、女性農業者が積極的に地域農業に貢献できる環境づくりを進め、人材の育成を図ります。
						効果と課題				課題に対するの修正点
		家族経営協定の推進	家族みんなが意欲的に働くことができる環境整備について、家族間で十分に話し合い、経営の改善につながるよう、家族経営協定の締結を推進します。	農林課	家族で十分話し合い、様々な分野で協力して取り組むよう、協定の締結を推進する。	実績状況（数値実績） 実績なし	C	① a b (c) ② a b (c) - ③ a b (c) ④ a b (c)	3.4.7	計画・内容（数値目標） 家族経営協定 1件
						効果と課題 家族経営協定締結のメリットが分かりづらい				課題に対するの修正点 ホームページ等を活用して周知を図る。

基本目標 3 学習会等の充実 ※推進計画P29から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 視点 (※3)	令和7年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(1) 共同参画を推進するための教育・学習の促進	①男女共同参画学習会の充実 ②幼稚園・保育園・学校における教育の推進 ③リーダーの養成と活動の支援	講演会や講座等の開催	女性のエンパワーメントやメディア・リテラシーの向上、性別による固定的役割分担意識の是正のための講演会、講座等を開催し、市民の理解を深め、啓発に努めます。	人権同和政策課	男女共同参画に関する講演会・講座等を開催する。 (男女共同参画週間事業、国際女性デー)	実績状況（数値実績） 「男女共同参画のつどい」「国際女性デーイベント」を開催した。 効果と課題 それぞれ123名、62名の参加があった。周知方法、開催方法の検討が必要	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 5 . 8	計画・内容（数値目標） 男女共同参画事業として”あいとびあ”さんかくセミナーのサテライト会場として開催 「国際女性デーイベント」の開催 課題に対する修正点 市報や市ホームページなどの活用だけでなく、各種団体等へチラシ等を配布しPRをしていく。
		各種学習会	今まで実施している女性学級、たけのこ学級、シニア大学、市民大学等に男女共同参画の視点からの学習内容も加味し、充実します。 (※たけのこ学級は令和4年度末をもって中止)	地域づくり支援課	女性学級、市民大学講座等を開催し、男女共同参画の視点からの学習内容も加味し、充実を図る。 女性学級は地域への還元、主体的に行動していく課題解決のため検討を行う。	実績状況（数値実績） 女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める力を身につけた学習を実施。受講生23名で年10回開催する。 効果と課題 ポッチャを学習した受講生が地域のポッチャ活動で中心になって推進している例がある。 全員が主体的に動ける講座運営を目指したい。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c	5	計画・内容（数値目標） 女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める力を身につけた学習を実施。受講生20名で年10回開催する。 課題に対する修正点 全受講生が交代で講座運営の一部（受付、集金、進行等）を担うことで、主体性をもって活動してもらう。
		家庭・地域における学習の推進	家庭教育や地域における学習活動を促進するために、各種講座の開催や地域における学習会への支援等を促進します。	地域づくり支援課	生涯学習事業として様々な講座等を開催し、学習意欲を持つ市民に対し、支援を行う。	実績状況（数値実績） 新規受講者の増加を目的として単発講座を10回開催、のべ119名が参加し、学習意欲を持つ市民に対し、支援を行った。 効果と課題 単発講座をきっかけに、社会教育団体として公民館の継続利用につながった例がある。課題は、単発のため受講生同士の繋がりが希薄になってしまう。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	5	計画・内容（数値目標） 年10回、のべ100名以上集められる単発講座を開催し、学習意欲を持つ市民に対し、支援を行う。 課題に対する修正点 講座の内容に合わせつつ、グループワーク等の受講生と関わる機会を積極的に設けることで、受講生同士の繋がりを創出する。
				人権同和政策課	地区懇談会を開催予定 懇談内容のフィードバック方法の検討	実績状況（数値実績） 男女共同参画推進会議主催による地域懇談会を和地区で開催、50名参加内容を和地区各区長へ報告し、区内回覧を依頼した。 効果と課題 主催者である男女共同参画推進会議が令和6年度をもって解散したため、今後の在り方について検討が必要	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3. 4. 5	計画・内容（数値目標） 子育て世代なども含め、様々な年代の方が集まる機会において、シェアシートを配布し、家庭内の男女共同参画の意識向上に努める。 課題に対する修正点 区長会、地域づくりの会など様々な場面でシェアシートを活用し、家庭内の男女共同参画についての啓発活動を行う。
		人権啓発学習会	各区ごとに、人権啓発学習会を開催します。	人権同和政策課 (教育課)	北御牧地区（一部）、滋野地区、和地区で人権啓発学習会を開催する。より多くの方に参加していただけるよう周知方法の検討	実績状況（数値実績） ・人権啓発学習会 滋野地区（6月4日～6月27日）、和地区（7月2日～7月30日）、北御牧地区（10月1日～10月31日）参加者 33区 327名 効果と課題 ・区等への声かけや回覧通知等で参加を促したが、参加者は伸び悩んでいる。 ・地道な呼びかけを継続していく。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	9	計画・内容（数値目標） 北御牧地区（一部）、田中地区、祢津地区で人権啓発学習会を開催する。より多くの方に参加していただけるよう周知方法の検討。 課題に対する修正点 回覧を全戸配布にする等、呼びかけの方法を一部変更して行う。
		人権まちづくり市民のつどい	人権をテーマとしたつどいを開催します。	人権同和政策課	平和と人権をテーマとした講演等の市民のつどいを開催する。より多くの方に参加していただけるよう周知方法の検討	実績状況（数値実績） ・人権尊重のまちづくり市民の集い（テーマ：部落差別とインターネット） 開催日：12月7日（土）会場：東御市中央公民館 来場者数 135名 ・東御市人権セミナー（第3回 テーマ：平和と人権） 開催日：8月7日（水）会場：東部人権啓発センター 来場者：36人 効果と課題 ・講演への関心が高く、市民の人権意識高揚につながった。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	9	計画・内容（数値目標） 平和と人権をテーマとした講演等の市民のつどいを開催する。より多くの方に参加していただけるよう周知方法の検討 課題に対する修正点 ・多くの方に参加いただくための周知方法を検討する。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
		男女平等教育の充実	幼児期から男女共同参画意識を育むことができるように、幼稚園、保育園、学校における男女平等観に根ざした教育を推進します。	教育課	性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い、理解する。他の教科と連携し学ぶ。（家庭科、理科、体育・保健体育、社会）	実績状況（数値実績） ・性教育、人権教育として男女の違いを認め合い、理解する。ほかの教科と連携し学んだ。（家庭科、理科、保健体育、社会） （5小学校、2中学校で実施）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c	1.2.3.4.5 .10	計画・内容（数値目標） ・性教育、人権教育として、男女の違いを認め合い、理解する。 ・他の教科と連携し学ぶ。（家庭科、理科、体育・保健体育、社会） （5小学校、2中学校）
						効果と課題 ・男女共同参画意識を育むことができるよう、学習の継続が必要。				課題に対しての修正点 ・各学校において学習の機会を設ける。
		指導者に対する研修の充実	指導にあたる幼稚園教諭、保育士、教職員やPTAを対象にした研修の中に、男女共同参画の視点に立った研修の機会を取り入れるように依頼します。	保育課	幼児期から男女共同参画意識を育むため、保育園等において男女平等観に根ざした教育を推進する。	実績状況（数値実績） ・日常の保育の中で、男女の区別をしない。 ・こども一人ひとりの個性を尊重する。 ・男女の固定観念にとらわれない保育。 以上3点に留意した保育を実施した。	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ (a) b c	3.10	計画・内容（数値目標） 幼児期から男女共同参画意識を育むため、保育園等において男女平等観に根ざした教育を推進する。
						効果と課題 ・ありのままの姿を受容し、その子らしさを大切にし、向かい合ってきた。 今後も子ども一人ひとりの個性を尊重し、のびやかな保育実践をする。				課題に対しての修正点
				人権同和政策課	男女共同参画を推進する団体等に研修の案内や研修参加への協力を依頼した。	実績状況（数値実績） 男女共同参画を推進する団体等に研修の案内や研修参加への協力を依頼した。	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	5	計画・内容（数値目標） 女性団体連絡協議会及び男女共同参画推進会議が解散となったため、今年度新設した女性人財バンク登録者等個人を対象に研修会参加等を依頼していく。
					男女共同参画を推進する団体等に研修の案内や研修への協力をする。より多くの方が研修に参加できるよう、情報提供方法の検討	効果と課題 より多くの方が研修に参加できるよう情報提供方法の検討				課題に対しての修正点 市ホームページやSNS等のほか、個人通知によりを周知を図っていく。
		各種学習会の企画・運営への参加	女性学級・たけのこ学級等の講座、学級の運営委員会、実行委員会の活動を通し地域のリーダー養成を支援します。 （※たけのこ学級は令和4年度末をもって中止）	教育課	各学校において職員、PTAへの人権研修を実施する。	実績状況（数値実績） ・新任教職員研修43人、和中小学校主催の北御牧中学校での研修会約150人、田中小学校授業研究71人 ・PTAを対象とした人権研修会 （5小学校、2中学校で実施）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ (a) b c	1	計画・内容（数値目標） ・各学校において職員、PTAへの人権研修を実施する。 （5小学校、2中学校）
						効果と課題 ・研修会実施の継続が必要。				課題に対しての修正点 ・各学校において研修会を実施する。
		リーダーの養成と活動の支援	男女共同参画の視点を持った団体やグループに対して、学習の場や情報を提供し、地域でリーダーとなり活動できるように支援します。	地域づくり支援課	女性学級：さまざまな学習会を通して、自身の資質向上をはかる。地域への還元、主体的に行動していく課題解決のため検討を行う。	実績状況（数値実績） 女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める力を身につけた学習を実施。受講生23名で年10回開催する。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） 女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める力を身につけた学習を実施。受講生20名で年10回開催する。
						効果と課題 ポッチャを学習した受講生が地域のポッチャ活動で中心になって推進している例がある。 全員が主体的に動ける講座運営を目指したい。				課題に対しての修正点 全受講生が交代で講座運営の一部（受付、集金、進行等）を担うことで、主体性をもって活動してもらう。
				人権同和政策課	関係団体へ講座開催の情報を提供する等活動を支援した。	実績状況（数値実績） 関係団体へ講座開催の情報を提供する等活動を支援した。	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	5.6	計画・内容（数値目標） 女性団体連絡協議会及び男女共同参画推進会議が解散となったため、今年度新設した女性人財バンク登録者等個人を対象に研修会参加等を依頼していく。
					関係団体へ講座開催の情報を提供する等活動を支援する。学習の場や情報提供の周知方法の検討	効果と課題 より多くの方が研修に参加できるよう情報提供方法の検討				課題に対しての修正点 市ホームページやSNS等のほか、個人通知によりを周知を図っていく。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 視点 (※3)	令和7年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(2) 支援 団体等との 連携と強固	①活動団体の 育成及び 支援 ②地域の女性 団体の実 態把握と ネットワー ク化の促進 ③自主的な 活動への支 援	活動団体の育 成・支援	自主的活動団体の育成・支援に努め ます。	人権同和政 策課	男女共同参画推進会議、女性団体連絡協議会等への 活動支援を行う。	実績状況（数値実績） 2団体へ活動支援を行った。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	6.9	計画・内容（数値目標） 両団体とも令和6年度末をもって解散となったため支援は休止
						効果と課題 団体会員の高齢化と会員の減少				課題に対しての修正点 公民館で行っている女性学級等と連携し、女性活躍のための学習会を開催し、 リーダーの育成、自主活動団体の育成に努める。
		男女が共に関わ る生涯学習活動 等の推進	文化活動、スポーツ活動、各生涯学 習講座等を通して、互いの連携促進 が図れるように支援します。	地域づくり 支援課	文化活動、各生涯学習講座等を通して、互いの連携 促進が図れるように支援する。	実績状況（数値実績） 文化活動、各生涯学習講座等を通して、互いの連携促進が図れるように支援した。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1.9	計画・内容（数値目標） 各種活動における男女共同参画の連携を支援する。
						効果と課題 それぞれの活動において男女共同参画に通じる連携促進について具体性がな い。				課題に対しての修正点 各活動での交流性を検討し連携が図れる支援に努める。
				文化・ス ポーツ振興 課	文化芸術及びスポーツの振興において、活動団体等 へ男女相互の連携を支援する。	実績状況（数値実績） ユニバーサルスポーツ（ボッチャ）への参加人数 R6 149人（R5 132人）	B	① a (b) c ② (a) b c - ③ a (b) c ④ (a) b c	10	計画・内容（数値目標） ユニバーサルスポーツ（ボッチャ）への参加人数 R7 163人（10%増）
						効果と課題 文化芸術及びスポーツの振興において、活動団体等へ男女相互の連携を支援した。				課題に対しての修正点
		女団連活動の支 援	女性団体連絡協議会の組織づくり及 び活動を支援します。	人権同和政 策課	女性団体連絡協議会の活動等を支援する。	実績状況（数値実績） 女性団体連絡協議会の活動等を支援した。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） 令和6年度末をもって解散となった。
						効果と課題 理事・代議員の高齢化				課題に対しての修正点 公民館で行っている女性学級等と連携し、女性活躍のための学習会を開催し、 リーダーの育成、自主活動団体の育成に努める。
		男女共同参画推 進に関わる活動 の支援	東御市男女共同参画推進会議等の男 女共同参画推進関連団体の自主的活 動を支援します。	人権同和政 策課	関連団体の活動を支援する。	実績状況（数値実績） 関連団体の活動を支援する。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） 令和6年度末をもって解散となった。
						効果と課題 団体会員の高齢化・会員数の減少				課題に対しての修正点 公民館で行っている女性学級等と連携し、女性活躍のための学習会を開催し、 リーダーの育成、自主活動団体の育成に努める。

基本目標 4 家庭における理解と協力【女性活躍推進法】 ※推進計画P35から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 視点 (※3)	令和7年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(1) 男女が互いに理解し協力する家庭の実現	①家庭における男女の役割分担意識の是正	各種学習会の開催	男女共同参画とジェンダー平等の視点に立った内容の学習会開催に努めます。	人権同和政策課	男女共同参画の視点に立った学習会を開催する。より多くの市民に参加していただけるよう、周知方法の検討及び各集会内容のフィードバック方法の検討	実績状況（数値実績） 長野県男女共同参画センター”あいとびあ”さんかくセミナーのサテライト会場として2回開催。 各分館で行う人権啓発学習会に男女共同参画の内容を加えた。内容を広報等でお知らせした。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1.2.3.4.5 .8.10	計画・内容（数値目標） 男女共同参画の視点に立った学習会（人権セミナー）を開催する。各分館で行う人権啓発学習会に男女共同参画の内容を加える。
						効果と課題 多くの方に参加いただけるよう周知方法を検討する。				課題に対しての修正点 実施内容を広報やホームページに掲載する。
(2) 男女が共に関わる家事・育児・介護の推進【女性活躍推進法】	①男女が共に築く家庭生活の充実 ②家族が共に関わる、家事・育児・介護の大切さの見直し【女性活躍推進法】	仕事と生活の調和の意識啓発	ワーク・ライフ・バランスを啓発し、家庭生活において男女が互いに協力し合う環境づくりを促進します。	人権同和政策課	男女共同参画の視点に立った学習会等を開催(ワークライフバランス啓発)する。 「国際女性デー」にあわせてイベントを開催する。	実績状況（数値実績） 「国際女性デーイベント」において、「家族の役割シェアシート」を使った講演会を行った。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	4.5	計画・内容（数値目標） 「国際女性デーイベント」等において、男女共同参画の視点に立った学習会等を開催(ワークライフバランス啓発)する。
						効果と課題 多くの方に参加いただけるよう周知方法を検討する。 シェアシートの有効な活用方法を検討する。				課題に対しての修正点 周知方法について、ホームページやSNS等を活用する。 シェアシートを積極的に活用する。
		男性の参画促進	家庭における男性の家事・育児・介護への参画を促進するため、各種講座を開催します。	人権同和政策課	男性の家事育児等への参画啓発事業を実施および県主催等の事業を周知する。 男女共同参画推進委員会と協力し、家庭内の役割分担を「見える化」するための「シェアシート」を作成し、イベントを開催する。	実績状況（数値実績） 「国際女性デーイベント」において、「家族の役割シェアシート」を使った講演会を行った。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3.4	計画・内容（数値目標） 「国際女性デーイベント」等において、男女共同参画の視点に立った学習会等を開催(ワークライフバランス啓発)する。
						効果と課題 多くの方に参加いただけるよう周知方法を検討する。 シェアシートの有効な活用方法を検討する。				課題に対しての修正点 周知方法について、ホームページやSNS等を活用する。 シェアシートを積極的に活用する。
				子ども家庭支援課	「すくすくぽけっと」の記事に父親の育児参加について情報発信を継続する。	実績状況（数値実績） 「すくすくぽけっと」で父親の育児参加や、家庭での活躍情報について情報発信した。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1 2 3 4 8 10	計画・内容（数値目標） 「すくすくぽけっと」の記事に父親の育児参加について情報発信を継続する。
						効果と課題 父親と参加の料理教室を実施し、5組の参加があった。 多くの方に参加してもらえよう周知方法を検討する。				課題に対しての修正点 すくすくぽけっと掲載だけでなく、プッシュ型のLINE配信をし周知する。
				福祉課	介護予防を通じて介護についての理解が深まるよう、男性も受講しやすい介護予防住民指導者養成講座とする。	実績状況（数値実績） 市報や市のライン等で講座の周知を行い、理学療法士による介護予防の知識と指導技術を学ぶ講座を実施した。 ・介護予防住民指導者養成講座 5回 ・修了者数 33名（うち、男性 5名）	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	4.12	計画・内容（数値目標） 介護予防住民指導者養成講座 2クール(1クール3回) 修了者数 80名(うち、男性30名)
						効果と課題 【効果】介護予防についての理解促進が図られた。 【課題】受講者が減少傾向であることが課題である。				課題に対しての修正点 講座の周知方法を見直す。
		子育て講座、学習会等の開催	男女が子育てに関わることの大切さを学習し家庭での育児力を高めるための体験型育児講座、学習会等を開催します。	子ども家庭支援課	・子育て支援センター行事内での啓発及び個別支援を継続する。	実績状況（数値実績） ・子育て支援センター内の講座で、折に触れ育児については保護者が協力して行うことを伝えた。 ・座談会等で保護者の悩みを出し合い支援した。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1 2 3 4 8 9 10	計画・内容（数値目標） ・子育て支援センター行事内での啓発及び個別支援を継続する。
						効果と課題 育児座談会を年4回実施し、保護者の育児の悩みごとを共有、支援することができた。 センター利用者が減少傾向であることが課題。				課題に対しての修正点 利用者増にむけてセンター行事の見直しを検討する。
		子育て支援団体等の育成、支援	乳幼児・児童の保護者の子育てを支援するボランティア団体等の育成・支援を行います。	子ども家庭支援課	・補助金を活用した団体育成、見守り強化事業を継続する。	実績状況（数値実績） ・補助金を活用し支援を実施した。2団体 ・見守り支援員登録者43人（R7.3.31現在） 訪問による支援 226回 支援活動の場での支援 392回	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1 2 3 4 8 9	計画・内容（数値目標） ・補助金を活用した団体育成、見守り強化事業を継続する。
						効果と課題 効果：地域で子育てを支える機運醸成が図られた。				課題に対しての修正点 引き続き子育て支援サポーター養成講座を開催し、見守り支援員登録者の増加を図る。
	両親学級		妊娠期の健康と出産の正しい知識を学習する両親学級を開催します。父親等の参加を促進し、父親の役割や家族の協力体制を学び、子育てなどを支援します。	健康推進課	年間6講座実施予定。参加しやすいように土曜に開催。 ママとパパの食教室4回（内1回外部講師）開催予定。	実績状況（数値実績） 年間6回講座開設。参加者人数59人（うち家族13 人）、夫婦で参加し、夫婦関係や、子育てに向けての役割分担について考える機会となっている。 ママとパパの食教室 4回開催 参加人数35人（うち家族13人）妊娠中の食事について考えたり、離乳食についての関心が高い。平日開催であるが、ご夫婦での参加が増えている。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ (a) b c ④ a (b) c	1.2.3.4.6 .8	計画・内容（数値目標） 年間6講座実施予定。参加しやすいように土曜に開催。 ママとパパの食教室3回開催予定。
						効果と課題 【効果】妊娠期から、夫婦で参加し妊娠中の生活や産後の生活、子育てについて一緒に考える事で家庭での役割分担が明確化する。 【課題】参加しやすいよう、土曜日開催としているが、内容や広報の方法についても検討し、特に初産婦の参加率を上げる。				課題に対しての修正点 初産婦の参加率が上がるよう、内容の検討や広報の方法や時期、回数について検討する。母子手帳アプリでも定期的に広報する。
	男女双方の育児・家事等への積極的参加の促進		育児や家事についてのエピソードや川柳の募集、展示を通して、ワーク・ライフ・バランスの理解と実践を広く図ります。	人権同和政策課	男女共同参画推進委員会と協力し、家庭内の役割分担を「見える化」するための「シェアシート」を作成し、イベントを開催する。	実績状況（数値実績） 「国際女性デーイベント」において、「家族の役割シェアシート」を使った講演会を行った。	B	① a (b) c ② a b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3.4	計画・内容（数値目標） 「国際女性デーイベント」等において、男女共同参画の視点に立った学習会等を開催(ワークライフバランス啓発)する。
						効果と課題 多くの方に参加いただけるよう周知方法を検討する。 シェアシートの有効な活用方法を検討する。				課題に対しての修正点 周知方法について、ホームページやSNS等を活用する。 シェアシートを積極的に活用する。

基本目標 5 女性の社会参画の促進【女性活躍推進法】 ※推進計画P40から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（1）政策・方針等の立案及び決定への女性の参画の参画の拡大【女性活躍推進法】	①審議会等への女性の参画・登用の促進 ②職場における女性の管理職への積極的登用 ③女性の人材育成と女性リーダーの養成【女性活躍推進法】	審議会・委員会等への女性の参画の促進	女性の意見が広く行政に反映できるように、審議会等の女性委員の割合の向上に努めます。	庁内各課	改選を伴う審議会、委員会については性別を理由として役員を固定的に分けることのないよう委嘱する。	実績状況（数値実績） 資料2参照	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3.4.6	計画・内容（数値目標） 引き続き女性の登用率40%を目指す。
						効果と課題 推薦を依頼していた女団連がR6年度末で解散となった。				課題に対しての修正点 推薦を依頼していた女団連が解散となったため、女性人財バンクを新設し、女性の登用に活用していく。
		市の女性職員の登用促進	性別に関係なく適材適所の職員配置に努めるとともに、能力に応じ女性職員の管理職への登用を促進します。	総務課	性別にとらわれない適材適所の職員配置を行う。	実績状況（数値実績） 管理職に占める女性の割合を15%にする。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1,2,3,4,6,7	計画・内容（数値目標） 管理職に占める女性の割合が、引き続き15%以上となるよう努める。
						効果と課題 （効果） ・意思決定に女性視点の多様性加わることにより柔軟な政策立案が可能となる。 （課題） ・管理職適齢期の女性職員が、年代によりバラツキがあり数値だけで計れない。				課題に対しての修正点 職員へのジェンダー研修等の実施
		事業所等における方針等の決定への女性の参画促進	企業経営者・管理者等を対象に、事業所等における女性の参画促進について理解を深めるため、広報・啓発活動を行います。	人権同和政策課	長野県社員の子育て応援等に取り組む事業所の紹介をする。周知方法の検討	実績状況（数値実績） 人権同和政策係と共同で企業訪問を行い（5社）、働きやすい環境づくりについてヒアリングを行った。	C	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) (c) ④ a (b) c	3.4.7	計画・内容（数値目標） 男女共同参画推進委員会と共同で企業訪問を実施する。（2社以上）
						効果と課題 総務担当へのヒアリングだったため、広報等掲載は行わなかった。 ヒアリング内容をいかに周知していくかが課題				課題に対しての修正点 企業訪問の結果を市報に掲載し、働きやすい職場づくりの取り組み内容をPRする。
		女性の人材育成	まちづくりの現代的課題などの学習会や能力向上を目的とした講座を開催し人材育成を図ります。	地域づくり支援課	女性学級：さまざまな学習会を通して、自身の資質向上をはかる。地域への還元、主体的に行動していく課題解決のため検討を行う。	実績状況（数値実績） 女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める力を身につけた学習を実施。受講生23名で年10回開催する。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	6	計画・内容（数値目標） 女性学級：受講生自身が講座の計画・運営することによって、自主的に物事を進める力を身につけた学習を実施。受講生20名で年10回開催する。
						課題と効果 受講生の減少と、新規受講生の獲得が課題である。				課題に対しての修正点 全受講生が交代で講座運営の一部（受付、集金、進行等）を担うことで、主体性をもって活動してもらう。
（2）地域の社会活動への女性の参画の促進	①自治会等における女性参画の促進 ②活動団体の育成及び支援	女性の活躍の環境づくりの推進	企業経営者等セミナー、女性リーダー研修、女性起業セミナー等への参加を促進します。	人権同和政策課	商工観光課と連携し、セミナー等の周知や参加を促進する。 参加促進のため、周知方法を検討する	実績状況（数値実績） 商工観光課と連携し、セミナー等の周知を行った。	B	① a (b) c ② a (b) c (-) ③ a (b) c ④ a (b) c	3.4.5.7	計画・内容（数値目標） 商工観光課と連携し、セミナー等の周知や参加を促進する。
						効果と課題 周知方法が課題。				課題に対しての修正点 より多くの情報を届けるための周知方法を検討する。
		自治会等における女性参画の促進	自治会等における各種役員への女性の参画を推進するため女性の登用を働きかけ、規約や役割分担の見直し・検討を促します。	地域づくり支援課	自治会等における各種役員の女性参画調査を実施し、現状を把握するとともに、自治会の共同参画推進を促す。	実績状況（数値実績） 自治会における女性参画率の調査。 自治推進委員会における女性参画についての周知（年2回）	B	① a (b) c ② a (b) c (-) ③ a (b) c ④ a (b) c	3.4.6.11	計画・内容（数値目標） 自治推進委員会における女性参画の周知等（2回）
						効果と課題 会議の場等を活用し一定の周知を図ることができた。				課題に対しての修正点 会議等の場において周知啓発を図る。
		活動団体の育成及び支援	各種活動団体の育成・支援に努めます。	人権同和政策課	自治会等における各種役員の女性参画調査を実施し、現状を把握するとともに、各種会議等で現状をお知らせし男女共同参画を促す。	実績状況（数値実績） 自治会等における各種役員の女性参画調査を実施し、現状を把握し、市ホームページに掲載した。 区長会等で現状をお知らせし、女性の登用を依頼した。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	3.4.6	計画・内容（数値目標） 自治会等における各種役員の女性参画調査を実施し、現状を把握し、市ホームページに掲載する。 区長会等で現状をお知らせし、女性の登用を依頼する。
						効果と課題 区長、副区長の女性の登用率が低い				課題に対しての修正点 今年度実施の市民意識調査の内容を分析し、課題を検証する。
		活動団体の育成及び支援	各種活動団体の育成・支援に努めます。	地域づくり支援課	小学校区単位の地域づくり等の活動支援を通じて、女性の社会参画を促す。	実績状況（数値実績） 地域づくり協議会の活動の場において女性の社会参画における周知を実施した。	B	① a (b) c ② a (b) c (-) ③ a (b) c ④ a (b) c	9	計画・内容（数値目標） 各地域づくり協議会における男女共同参画の機会について1回以上周知する。
						効果と課題 女性参画における周知啓発の推進する。				課題に対しての修正点 女性の社会参画における啓発を推進する。

基本目標6 家庭生活と社会活動等が両立するための支援 ※推進計画P45参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（1）仕事と育児・介護の両立のための社会的支援	①保育サービスの充実 ②子育て支援サービスの充実 ③介護サービスの充実	保育環境の整備	特別保育など保育サービスの充実を図り、女性の社会進出、職場復帰を支援します。	保育課	市立保育園をはじめ、私立保育園、小規模保育事業所などと連携を図り、良好な保育環境の維持に努める。	実績状況（数値実績） 市内の保育園、幼稚園、小規模保育事業所が参加する連絡会議を毎月開催し、情報共有や連携に努めた。	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ (a) b c	8	計画・内容（数値目標） 市立保育園をはじめ、私立保育園、小規模保育事業所などと連携を図り、良好な保育環境の維持に努める。
						効果と課題 安心して子どもを預けられる良好な保育環境を維持することができた。				課題に対する修正点
		子育て支援環境の整備	低学年児童の放課後対策のため、児童館・放課後児童クラブを開館し、子育てを支援します。	教育課	各地区別児童館の運営と田中、滋野、祢津小学校に併設の各児童クラブ及び北御牧児童館、和児童館それぞれ併設の児童クラブの運営を行う。	実績状況（数値実績） 児童館利用者数 延べ59,967人 児童クラブ利用者数 延べ49,937人 滋野児童館移転新築（児童クラブ併設施設）	B	① a (b) c ② (a) b c － ③ a (b) c ④ (a) b c	1	計画・内容（数値目標） 各地区別児童館の運営と田中、祢津小学校に併設の各児童クラブ及び北御牧児、滋野、和児童館それぞれ併設の児童クラブの運営を行う。
						効果と課題 児童館、児童クラブの適切な運営が図れた。 滋野児童館移転新築により、利用児童の利便性向上が図られた。 老朽化している田中、祢津児童館の改修等が今後の課題となる。				課題に対する修正点 田中、祢津児童館の改修等については、今後、立地場所等も踏まえ、引き続き検討を行っていく。
		育児相談	子育て支援センター及び各保育園で育児相談を行います。	子ども家庭支援課	子育て支援センター通所者以外の相談にも積極的に応じていく。	実績状況（数値実績） ・利用者支援事業として子育て支援センターの相談に応じるほか、乳幼児健診等においても各種相談に応じた。 ・支援センター以外でもLINE等による相談を実施した。	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	1 2 3 8 10	計画・内容（数値目標） 子育て支援センター通所者以外の相談にも積極的に応じていく。
						効果と課題 効果：来庁や電話よりも気軽に利用できるLINE相談により、相談へのハードルを下げる事ができた。				課題に対する修正点 LINE登録の周知、声掛けを積極的に行う。
				保育課	各保育園で保護者面談を行うことで、保護者が育児相談できる場所を設ける。	実績状況（数値実績） ・各関係機関と連絡を取り合い、情報を共有することができた。	A	① (a) b c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ (a) b c	1.3	計画・内容（数値目標） 各保育園で保護者面談を行うことで、保護者が育児相談できる場所を設ける。・1歳児参観日において保健師による講演・相談を実施する。
						効果と課題 ・各関係機関と連携を図り、情報共有をしたことで、保育サービスが充実した。				課題に対する修正点
		介護支援と相談機能の充実	介護情報の周知に努め、介護サービスが円滑に利用できるように支援します。また、地域包括支援センターを拠点に介護相談の充実を図ります	福祉課	令和6年度より土曜日に相談窓口を開設し、相談支援体制の充実を図る。	実績状況（数値実績） R6年6月より、毎週土曜日の午前中に相談窓口を開設。 R7年2月より、第4土曜日に福祉用具相談会を実施。	B	① a (b) c ② a (b) c － ③ a (b) c ④ a (b) c	4, 8	計画・内容（数値目標） ・毎週土曜日（AM）相談窓口の開設 ・第4土曜日（AM）福祉用具相談会の実施
						効果と課題 【効果】平日に来所できない方等に対して、利便性の向上が図られている。 【課題】利用者数が低迷しているため、更なる周知が必要である。				課題に対する修正点 ・ホームページの掲載やチラシの配布等による周知 ・土曜日開催のイベント・教室等により来庁者を増やす
		家庭介護者の講習	介護を行っている家族が知識・技術を習得するための教室を開催します。	福祉課	認知症を抱える家族介護者の会を引き続き開催し、在宅支援の充実を図る。	実績状況（数値実績） 認知症家族会について毎月市報で周知を行い、月1回の頻度で福祉センターで実施した。 ・毎月1回実施 参加者 延べ105名	B	① a (b) c ② a (b) c － ③ a (b) c ④ (a) b c	4	計画・内容（数値目標） ・毎月1回実施 参加者延べ120名
						効果と課題 【効果】認知症を持つご家族の情報共有や息抜き場となっている。 【課題】参加者が固定化していることが課題である。				課題に対する修正点 新規参加者が増えるよう、家族会の周知方法を工夫する。
		介護保険制度の円滑な実施	介護保険制度の目的を踏まえ、制度を円滑に実施し、家族の介護負担の軽減を図ります。	福祉課	引き続き在宅福祉サービス事業の推進を図ることに より家族への介護負担の軽減を図る。	実績状況（数値実績） 高齢者日常生活サポート事業や在宅医療・介護情報共有ネットワークの創設など、新たなサービス基盤の方向付けに取り組んだ。 ・地域ケア会議（全47回）、推進会議（全2回）	B	① a (b) c ② a (b) c － ③ a (b) c ④ a (b) c	8	計画・内容（数値目標） ・高齢者日常生活サポート事業 利用者数20名 有償ボランティア登録数30名 ・通所型サービスB型及びC型 各3か所 ・地域ケア会議（50回）推進会議（4回）
						効果と課題 【効果】地域ケア会議の充実により、多職種連携が図られ家族の介護負担の軽減につながっている。 【課題】インフォーマルサービスの充実				課題に対する修正点 在宅福祉サービス基盤の拡充に向けた新たなフォーマル・インフォーマルサービスの検討。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（2）地域 社会との連携	①地域の多 様性に基づ いたネット ワークの構 築 ②男女が共 に関わる地 域づくりの 促進	ボランティア団 体の育成・支援	市民一人ひとりが地域社会へ参画す るためボランティア団体の育成・支 援に努めます。	子ども家庭 支援課	子育て支援サポーター研修を継続し、さらにサポ ーターを増やす。（目標累計100人）	実績状況（数値実績） 子育て支援サポーター養成講座受講者累計103人（R6年度末現在）	B	① a (b) c ② (a) b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1 3 4 8 9 12	計画・内容（数値目標） 子育て支援サポーター養成講座を継続し、さらにサポーターを増やす。（目標 累計100人以上）
						効果と課題 課題：子育て支援サポーター養成講座受講者の増加				課題に対する修正点 引き続き子育て支援サポーター養成講座を開催する。（年3回）
				保育課	保育園でボランティアを受け入れる。	実績状況（数値実績） ボランティアを受け入れる。年1回、食育（ベジレンジャー）・ごみ減量アド バイザー・園によっては民生委員ボランティアの受け入れを行った。	B	① a (b) c ② a b c () ③ a (b) c ④ (a) b c	1・3・9	計画・内容（数値目標） 保育園でボランティアを受け入れる。
						効果と課題 ・子どもたちが多様な大人と関わる機会を得る事ができた。				課題に対する修正点
				福祉課	社協と連携しボランティア団体の支援を継続する。 また、引き続き介護予防住民指導者の育成及び住民 主体の会の継続支援に努める。	実績状況（数値実績） 社協と連携し、有償ボランティアの仕組みづくりと育成を実施した。 介護予防住民指導者養成講座 5回 修了者数 33名（うち、男性 5名） 住民主体の会（通いの場）11ヵ所	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	9	計画・内容（数値目標） 介護予防住民指導者養成講座 2クール(1クール3回) 修了者数 80名(うち、男性30名)
						効果と課題 【効果】地域で活躍する人材の育成が図られた。 【課題】講座受講者が減少傾向であることや把握できていない住民主体の会が あること。				課題に対する修正点 講座の周知方法を見直す。 把握できていない住民主体の会の掘り起こしを行う。
		ネットワークの 構築への支援	ボランティア団体など地域で活動す る各種団体のネットワークの構築、 地域活動を支援します。	子ども家庭 支援課	・子育て見守りサポーターの更新研修を継続し、見 守り支援員の登録者数を増やす。（目標累計50人） ・支援対象児童の定期的なモニタリングを実施し、 「支援対象児童等見守り支援強化事業」の見守り体 制の充実と適正化を図る。	実績状況（数値実績） ・見守り支援員登録者数累計43人（R7.3.31現在） ・見守り支援の訪問による支援226回、支援活動の場での支援392回 ・登録者の情報交換の場を持ち研修を実施した	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1 3 9	計画・内容（数値目標） ・子育て見守りサポーターの更新研修を継続し、見守り支援員の登録者数を増 やす。（目標累計50人） ・支援対象児童の定期的なモニタリングを実施し、「支援対象児童等見守り支 援強化事業」の見守り体制の充実と適正化を図る。
						効果と課題 効果：地域で子育てを支える機運醸成が図られた。 課題：見守り支援員登録者の増加				課題に対する修正点 引き続き子育て支援サポーター養成講座を開催し、見守り支援員登録者の増加 を図る。
		女性の地域づく りの促進	地域づくり、まちづくりに男女が対 等な立場で活動できるよう女性の参 画を促進します。	地域づくり 支援課	自治会等における各種役員の女性参画調査を実施 し、現状を把握するとともに、自治会の共同参画推 進を促す。	実績状況（数値実績） 自治会における男女共同参画の周知を図った。	B	① a (b) c ② a b c () ③ a (b) c ④ a (b) c	3.11	計画・内容（数値目標） 各自治会等への女性参画における周知啓発の推進。
						効果と課題 自治会の役員イコール世帯主（男性）というイメージが大きいため、なかなか 自治会等における女性のなり手が増えない				課題に対する修正点 自治会イベント等における男女共同参画に向けての周知を図る。
		地域の生活課題 への女性の参画 促進	防災・環境問題等の生活課題に関す る地域活動への女性の参画を促しま す。	総務課	地域防災計画に基づき、9月1日に市防災訓練を実施 予定。男性も女性も性別に係らず主体的に役割を担 うよう啓発をする。 市防災訓練の参加人数（安否確認含む）を一層増や す必要がある。	実績状況（数値実績） 台風接近の可能性により、防災訓練を中止した。	不	① a b (c) ② a b (c) - ③ a b (c) ④ (a) b c		計画・内容（数値目標） 総合防災訓練について男女共同参画の観点からも、多くの人に参加してもら うよう周知する。
						効果と課題 （効果）防災意識の向上 （課題）命を守るための訓練のため、老若男女問わずに多くの方に参加しても らうこと。				課題に対する修正点 特になし
		生活環境課	防犯女性部・ごみ減量3R推進委員会等女性の活動を 通じて、地域全体で意識の高揚を図る。各団体への 参加を様々な機会をとらえてPRする。			実績状況（数値実績） 防犯女性部は月1回の防犯パトロールや市内保育園での防犯紙芝居を実施し た。 ごみ減量3R推進委員会は、新規会員の要件「ごみ減量アドバイザー養成講座」 を2名の女性が受講して修了した。	B	① a (b) c ② a b c () ③ a (b) c ④ a (b) c	9	計画・内容（数値目標） 防犯女性部・ごみ減量3R推進委員会等女性の活動を通じて、地域全体で意識 の高揚を図り、各団体への参加を様々な機会をとらえてPRする。
						効果と課題 防犯女性部は、防犯パトロール等の防犯啓発活動により、地域の防犯意識の高 揚を図れているが、特殊詐欺に関しては今も新たな手法の詐欺が増えており、 防止する方法もまた多様化してしまう。 ごみ減量3R推進委員会は、広報紙発行やリサイクル活動等を通じて、ごみの分 別や減量化資源化につながったが、ごみの総量は前年度より微増となった。				課題に対する修正点 防犯女性部は、警察等と連携を取り防犯啓発に当たっていき市民の防犯意識の 向上を図りたい。 ごみ減量3R推進委員会は、ごみの分別方法や減量の重要性を伝える啓発内容を さらに充実して市民の意識向上を図る。

基本目標 7 母性の保護と男女の健康の増進 ※推進計画P48から参照

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（1）母性の尊重と保護	①母性尊重の意識の啓発 ②妊娠、出産、育児の安心 ③性感染症予防への取り組み	妊婦保健指導等	助産師による訪問相談や保健指導、両親学級等により妊娠、出産、育児に関する知識・技術の習得と不安の解消、流産や早産の回避を図るとともに、妊婦とその家族に母性保護の重要性を啓発します。	健康推進課	・妊娠届時に個別の保健指導を実施する。 ・もうすぐママパパ学級を開催する。 ・助産所とうみと連携し、妊婦相談訪問事業を行い、産後の支援に繋げる。	実績状況（数値実績） 妊娠届（128件）個別面接時に保健指導実施。もうすぐママパパ学級では安心して妊娠、出産、子育てができるよう保健指導を行い、必要に応じ個別相談も行った。母性保護については夫婦の役割について考えられる内容とした。妊産婦相談事業（130件）として訪問などで面接を実施した。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ (a) b c ④ a (b) c	1. 3. 4. 6. 8	計画・内容（数値目標） ・妊娠届時に個別の保健指導を実施する。 ・もうすぐママパパ学級を開催する。 ・助産所とうみと連携し、妊婦相談訪問事業を行い、産後の支援に繋げる。
						効果と課題 【効果】母子手帳交付、妊婦訪問相談と妊娠期に2回、必要があれば随時相談を受け付けている。お会いする機会が多い程、対象者との距離が縮まり、より相談しやすい関係が築けている。 【課題】妊婦訪問相談を行えないケースがある。				課題に対する修正点 支援体制を整えて育児がスタートできるよう、妊婦相談訪問を全員に実施できるよう周知、早めの連絡に努める。
		母子保健の充実	妊産婦及び乳幼児の検診・訪問、健康相談、発達相談等により母子の健康保持を図ります。	健康推進課	引き続き、妊産婦・新生児訪問事業、乳幼児健診、母子訪問、健康相談、子育て相談等により、母子健康管理などの相談に務める。	実績状況（数値実績） 妊産婦・新生児訪問事業、乳幼児健診、母子訪問、健康相談、子育て相談等を実施した。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ (a) b c ④ a (b) c	1. 2. 3. 4. 6. 8	計画・内容（数値目標） 引き続き、妊産婦・新生児訪問事業、乳幼児健診、母子訪問、健康相談、子育て相談等により、母子健康管理などの相談に務める。
						効果と課題 【効果】切れ目ない支援が行えた。				課題に対する修正点
		安心・安全な出産	安心・安全な出産ができる体制の整備・維持に努めます。	市民病院 助産所とうみ	・安心・安全なお産の提供に向けて、妊婦さんのセルフケアを促し、転院率の減少につとめる。 ・信州上田医療センターとの医療連携の維持、強化に努める。 ・産後ケア利用者数の増加、サービスの向上に努める。 ・東御市との連携を強化、維持できる。 ・新規事業（訪問看護、産後の新規クラス）実施、開催できる。	実績状況（数値実績） ・信州上田医療センターとの連携強化により転院率が減少した。 ・産後ケア事業利用者が大幅に増加した。	B	① (a) b c ② (a) b c - ③ a (b) c ④ a (b) c	12	計画・内容（数値目標） ・安心・安全なお産の提供に向けて、妊婦のセルフケアを促し、転院率の減少に努める。
						効果と課題 ・R7年度開始の母子訪問看護事業による在宅支援の推進。				課題に対する修正点 ・母子訪問看護事業により、妊娠期から産後まで、切れ目ない支援に努める。
		相談事業	エイズやその他の性感染症についての正しい知識、情報を提供し、自分の身体を大切にする意識の高揚を図り、健康相談に対応します。	健康推進課	・エイズ等について正しい知識、情報を提供するため、相談の周知を行う。 ・健康相談、電話相談等により常時相談に応じる。	実績状況（数値実績） 健康相談、電話相談窓口の周知を毎月の広報で行った。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	8. 12	計画・内容（数値目標） ・エイズ等について正しい知識、情報を提供するため、相談の周知を行う。 ・健康相談、電話相談等により常時相談に応じる。
						効果と課題 ・引き続き、相談窓口の周知が必要。				課題に対する修正点 ・健康相談、電話相談等により常時相談に応じる。
		性感染症教育	小・中学校において性感染症についての正しい知識、情報を学習し、自分の体を大切にする知識の向上を図ります。	教育課	・小学校は6年生で保健体育「病気の予防」で、中学校は特活、保健体育で性感染症について学年に応じて学習する。 （5小学校、2中学校で実施）	実績状況（数値実績） ・小学校は6年生で保健体育「病気の予防」で、中学校は特活、保健体育で性感染症について学年に応じて学習した。 （5小学校、2中学校で実施）	B	① a (b) c ② a b c (c) ③ a (b) c ④ a (b) c	1. 2. 12	計画・内容（数値目標） ・小学校は6年生で保健体育「病気の予防」で、中学校は特活、保健体育で性感染症について学年に応じて学習する。 （5小学校、2中学校）
						効果と課題 ・引き続き、学年の応じた性感染症についての正しい知識、情報の学習が必要。				課題に対する修正点 ・学年に応じた学習の機会を設ける。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（２）生涯を通じた男女の健康づくり支援	①ライフステージに応じた健康づくり支援 ②相談体制の充実	ライフステージに応じた健康づくり支援	自らの健康は自らつくることを基本に、各種検診、健康相談の実施や健康づくり教室の開催などにより、乳幼児期から高齢期までライフステージに応じた健康の保持。増進を支援します。	健康推進課	乳幼児期から高齢期までライフステージに応じた健康づくりの視点で、各種検診や健康相談や教室等の保健・健康づくり事業を実施する。	実績状況（数値実績） 各種検診、がん検診、健康相談や運動教室等を予定通り実施した。 出前講座：23回 延べ462人 運動教室：14回 延べ247人	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	8.12	計画・内容（数値目標） 第3次健康とうみ21（前期計画）に基づき、心身共に元気で自分らしく暮らし続けることのできるよう、健康の保持が図れるように推進する。 出前講座：25回 500人 運動教室：12回 240人
						効果と課題 【課題】より多くの市民が事業に参加できるよう、周知を図っていく。				課題に対しての修正点 ・出前講座、運動教室の周知を図る。
	食育の推進		生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の確保が図れるように食育を推進します。	健康推進課		実績状況（数値実績） 健康とうみ21（後期計画）に基づき、食育推進市民会議1回開催、栄養士連絡会1回開催し健康の保持が図れるよう取り組んだ。	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	9.12	計画・内容（数値目標） 第3次健康づくり計画健康とうみ21（前期計画）に基づき、生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の保持が図れるように推進する。
						効果と課題 【効果】関係者が集まり、東御市の食に関する情報交換や意見交換ができた。				課題に対しての修正点 引き続き関係者で情報交換し、ライフステージを通じた食育推進に取り組む。
				教育課		実績状況（数値実績） アスリート給食体験や農業農村支援センターと連携した地域農産物に関する食育授業、骨付き魚を活用した魚食に関する食育授業等を実施した。	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	1	計画・内容（数値目標） 引き続き、各小中学校において作成した「食に関する指導の全体計画」に基づき食育活動を推進する。
						効果と課題 各食育授業をとおして、食の大切さや地元農産物の重要性について理解を深めることができた。				課題に対しての修正点 より効果的な内容となるよう、県農業農村視線セターやアスリート食堂等、食育関係者と取り組み内容の見直しを行っていきます。
				子ども家庭支援課	支援センター内での食事を再開。 ・専門職が相談に応じる体制を継続する	実績状況（数値実績） ・支援センター内での食事をとる機会を作り、食事の場面での交流ができた。 ・支援センター以外においても食の相談に応じ、健康推進課の管理栄養士に繋げて支援したケースもあった。	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	1 3 4 10	計画・内容（数値目標） ・支援センター内での食事を通した交流を継続する。 ・専門職が相談に応じる体制を継続する。 ・支援センター以外においても食の相談に応じ、必要時庁内の管理栄養士に繋げて支援する。
						効果と課題 利用者同士で交流する場を提供することができた。				課題に対しての修正点 引き続き支援センター内で食事をとる機会を提供する。
				保育課		実績状況（数値実績） 各園で食育活動を行った。各園ごとの田畑で園児が米や野菜等を栽培・収穫し、自分達で調理する体験も行った。 参加保育の中で保護者が給食を試食、当日の献立レシピを配布し、食に関心が持てるよう促した。	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	3.12	計画・内容（数値目標） 給食に地元食材・園内菜園で収穫した野菜を積極的に使用・調理し食することで、食や地域への関心を高める。また、作物を作り自ら調理することで食に関するすべての人への感謝の気持ちを育てるように促していく。家庭へのお便りや献立のレシピを配布し、情報の共有を図る。
						効果と課題 ・自分達で育てた野菜を使って調理することで、食材に興味を持てるようになった。				課題に対しての修正点
	相談体制の充実		乳幼児期から高齢期まで様々な相談に対応し、心身ともに健康な生活づくりを支援します。	健康推進課	母子健康相談・生活習慣病相談を実施する。	実績状況（数値実績） 母子健康相談を毎週火曜日、生活習慣病相談を週5日実施した。	B	① a b c ② a b c - ③ a b c ④ a b c	1.2.4.8. 10.12	計画・内容（数値目標） 引き続き、母子健康相談・生活習慣病相談を実施する。
						効果と課題 【効果】市民が気軽に相談できる機会となっている				課題に対しての修正点

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値実績も記載してください)	事業実績 評価 (※1)	評価判断基準 (※2)	共同参画 観点 (※3)	令和7年度事業計画（事業名・内容） (男女共同参画の視点から記入してください) (回数などの数値目標も記載してください)
(3) 困難な状況に置かれている者への支援と多様性の尊重	①ひとり親家庭などの生活上の困難を抱えている者への支援 ②姓の多様性への理解促進 ③どのような属性の人たちでも安心してくらせる環境整備	ひとり親家庭など生活上の困難を抱えているものへの支援	一人親家庭など生活上困難な状況に置かれている者に対する、それぞれが抱える課題に応じた包括的な支援を、関係機関・支援団体等との連携により推進します。	福祉課	・母子父子自立支援員がひとり親家庭からの相談に応じ支援を行う。 ・離婚問題等での専門的な相談に対応するため、新たに離婚前後親支援事業に取り組み、公正証書等の費用助成や弁護士相談を実施する。	実績状況（数値実績） 新たに養育費等の請求の取り決めについて、公正証書化するための助成制度の創設及び弁護士より助言を受けられる無料法律相談を実施した。 ・ひとり親等無料法律相談 ・開催回数 3回 相談者 9名 ・公正証書等の費用助成 4件	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		計画・内容（数値目標） ・母子父子自立支援員がひとり親家庭からの相談に応じ支援を行う。 ・離婚問題等での専門的な相談に対応するため、離婚前後親支援事業に取り組み、公正証書等の費用助成や弁護士相談を実施する。 課題に対しての修正点 法律相談等事業の周知を図る。
				人権同和政策課	毎月人権よろず相談所を開設（年12回）、相談内容の充実（男性の人権等）を図る。また、隔月で女性弁護士相談を実施する（年6回）。様々な相談内容に対応できる体制の検討。	実績状況（数値実績） ・人権よろず相談開設 年12回（相談件数 97件） ・女性弁護士相談開設 年6回（相談件数 21件） 効果と課題 ・効果 相談者の悩みごとの解決の糸口となった。 ・課題 様々な相談内容に対応できる体制の検討。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		1.2.3.4.8 課題に対しての修正点 ・引き続き相談者の悩みごとの解決の糸口となるよう事業を進めていくとともに、午後の開催が可能かどうか弁護士会と協議する。
				人権同和政策課	毎月人権よろず相談所を開設（年12回）、相談内容の充実（男性の人権等）を図る。また、隔月で女性弁護士相談を実施する（年6回）。様々な相談内容に対応できる体制の検討。	実績状況（数値実績） ・人権よろず相談開設 年12回（相談件数 97件） ・女性弁護士相談開設 年6回（相談件数 21件） 効果と課題 ・効果 相談者の悩みごとの解決の糸口となった。 ・課題 様々な相談内容に対応できる体制の検討。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		1.2.3.4.8 課題に対しての修正点 ・引き続き相談者の悩みごとの解決の糸口となるよう事業を進めていくとともに、午後の開催が可能かどうか弁護士会と協議する。
		性の多様性への理解促進	多様な性のあり方についての正しい理解による、多様性が尊重される環境づくりと、男女の性別二元論を前提とした身近な制度や慣行等の見直し、相談支援体制の整備に努めます。	教育課	小中学校で多様な性のあり方について理解を進めるための学習の機会を設ける。	実績状況（数値実績） ・副読本「あけぼの」を使い、小中学校で多様な性のあり方について理解を進めるための学習をした。 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・多様な性のあり方についての正しい理解のため、学習の継続が必要。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	1.2.3.4.10 課題に対しての修正点 ・各学校において、学習を実施する。	
				人権同和政策課	東御市人権セミナーにて実施（会場はいずれも東御市人権啓発センター） 【第1回 障がい者の人権】 演題：山洋電気株式会社における障がい者雇用の取組 ～発達障がい社員との関わり事例～ 講師：山洋電気株式会社経営企画部キャリア開発課課長 山口 敦子さん 日時：6月26日（水）午後1時30分～3時 来場者：44人 【第4回 LGB T Q】 演題：性の多様性 ～LGB T Qについて～ 講師：ダイバーシティ信州 会長 小泉 涼さん 日時：9月28日（土）午後1時30分～3時 来場者：15人 効果と課題 ・一部講演で参加者が伸び悩んだ。	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		1.2.3.9.10 課題に対しての修正点 ・人権セミナーを平日の昼間開催に変更し、企業にも研修として参加していただけるようにした。		
		どのような属性の人たちでも安心してくらせる環境整備	障がい者、外国人等、多様な属性の人々に対する正しい理解や、それぞれが持てる力を発揮し、自分らしく安心して生活できるよう、多様な就業機会や学習機会の提供、相談支援体制の整備、社会的孤立を防ぐための地域の支え合いを推進します。	商工観光課	商工団体等と連携し、障がい者や外国人等への正しい理解や、就業機会の創出に向けて講演会を開催する。	実績状況（数値実績） 近隣市町村、商工会議所、商工会が主催になって行う、上田地域産業展において、外国人労働者の企業側の受け入れ体制を整えることを目的に、外国人人材セミナーを実施し、外国人雇用に必要な基礎知識や入管申請書作成等を解説した。 効果と課題 障がい者や外国人労働者を積極的に受け入れている事業者情報が把握できていない。	B	① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c	10 課題に対しての修正点 市が事務局を持つ商工業団体等から情報収集を行い、データベース化を進める。	
				教育課	小中学校で障がい者、外国人等、多様な属性の人々に関する学習の機会を設ける。	実績状況（数値実績） ・副読本「あけぼの」を使い、小中学校で障がい者、外国人等、多様な属性の人々に関する学習をした。 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・障がい者、外国人等、多様な属性の人々に対しての正しい理解をするため、学習の継続が必要。		① a (b) c ② a (b) c - ③ a (b) c ④ a (b) c		1.2.3.4.5.10 課題に対しての修正点 ・各学校において、学習を実施する。

具体的目標	施策の方向	具体的施策	事業の内容・主な取り組み	担当課	令和6年度事業計画（事業名・内容）	令和6年度実績状況・課題 （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値実績も記載してください）	事業実績 評価 （※1）	評価判断基準 （※2）	共同参画 視点 （※3）	令和7年度事業計画（事業名・内容） （男女共同参画の視点から記入してください） （回数などの数値目標も記載してください）
（1）国際 的視野に 立った事業 の取り組み	①諸外国の 事業把握と その活用 ②国際交流 の推進と協 調	国際的な動向の 情報提供・意識 啓発	男女共同参画に関する国際的な動向 についての情報を提供し、市民が国 際社会に関心を持ちながら、男女共 同参画意識を高めていくように努め ます。	人権同和政 策課	世界における日本のG G I（ジェンダーギャップ指 数）について周知する。 市HPなど様々な方法による周知を検討する。	実績状況（数値実績） 各分館で行われる陣形啓発学習会のいて、日本のジェンダーギャップ指数につ いて説明した。 効果と課題 市報等でも周知が必要	B	① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c	3.4.6	計画・内容（数値目標） 各種イベントや市報等で日本のジェンダーギャップ指数についてお知らせす る。 課題に対しての修正点 市ホームページ等を積極的に活用する。
		国際交流の促進	市民の国際交流を深め、姉妹都市や 市内在住外国人との交流を促進し、 市内国際交流団体の活動を支援しま す。	地域づくり 支援課	東御市国際友好協会への補助 友好協会主催事業 姉妹都市マドラス市との交流事業 ホストタウンモルドバ共和国との交流事業	実績状況（数値実績） 国際交流事業・イベントにおける女性参画の推進を図った。 効果と課題 事業推進における女性参画の周知啓発を推進する。		① a (b) c ② a b c (－) ③ a (b) c ④ a (b) c		計画・内容（数値目標） マドラス市とのホームステイ事業における女性参画の周知等（1回以上） 課題に対しての修正点 国際交流事業における女性参画の周知等を推進する。
		外国籍市民の支 援	外国語により情報提供や外国人コ ミュニケーターによる相談事業によ り外国籍市民が安心して生活できる よう支援します。	生活環境課	・生活全般：ごみの出し方等 ・教育：小中学校の保護者・児童支援 ・子育て：保育園の保護者・児童支援 ・翻訳：市民への通知等	実績状況（数値実績） ゴミの出し方については、外国語の資料とホームページにより支援を行ってい る。「ゴミ・資源物分け方・出し方ポスター」については、英語、中国語、韓 国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語の6か国語を配布。 外国人コミュニケーターが外国人籍市民からの相談を窓口や電話で受ける他、 学校や保育園へ出向いての保護者等への通訳支援を実施するとともに市からの 通知文等の通訳を行った。 令和6年度の相談件数：1,222件 効果と課題 外国籍市民の生活面の相談を受け、安心して生活できるよう支援しているが、 児童・生徒がいる家庭における学校等での保護者通訳として対応件数が増加し ている。	B	① a (b) c ② a b (c)－ ③ a (b) c ④ a (b) c	10	計画・内容（数値目標） ・生活全般：ごみの出し方等 ・教育：小中学校の保護者・児童支援 ・子育て：保育園の保護者・児童支援 ・翻訳：市民への通知等 課題に対しての修正点 各部署における通訳の確保について、関係機関と今後協議していく。
		外国語教育及び 国際理解教育の 推進	小中学校に外国語指導助手（AL T）を配置し、英語教育の充実を図 り、国際理解を促します。	教育課	・英語専科教員及び外国語指導助手を配置し英語教 育の充実を図る。ALT3名の配属し、外国の人た ちと触れ合う機会を作り、文化の理解を図る。	実績状況（数値実績） ・外国語指導助手を配置し英語教育の充実を図る。東部中学校、北御牧中学校 に1名、滋野小学校、弥津小学校、北御牧小学校（1～4年）に1名、田中 小学校、和小学校、北御牧小学校（5・6年）に1名の計3名配属し、外国の人 たちと触れ合う機会を作り、文化の理解を図った。 （5小学校、2中学校で実施） 効果と課題 ・英語教育の充実を図るため、学習の継続が必要。		① a (b) c ② a (b) c－ ③ a (b) c ④ (a) b c		計画・内容（数値目標） ・英語専科教員及び外国語指導助手を配置し英語教育の充実を図る。ALT3 名の配属し、外国の人たちと触れ合う機会を作り、文化の理解を図る。 （5小学校、2中学校） 課題に対しての修正点 ・各学校において、学習の機会を設ける。